



# キッズゲルニカ 富士宮プロジェクト

—富士山麓から世界平和を祈る—



スペインの画家ピカソが、スペインの内戦により空爆されたまち、ゲルニカの悲惨な状況を描いた絵画「ゲルニカ」にならい、縦3.5メートル、横7.8メートルの大きなキャンバスに、子どもたちが平和のメッセージを込めて描く国際的なアートプロジェクトです。

富士宮市も、このプロジェクトの趣旨に賛同し、市内の小・中・高校生がキッズゲルニカを制作しました。

## 展示スケジュール

日 時／ 9月20日(火)～30日(金)  
会 場／ 市役所1階 市民ホール  
展示作品／ 富士宮第四中学校・南部公民館

日 時／ 11月1日(火)～10日(木)  
会 場／ 市役所1階 市民ホール 展示作品／ 富士宮第四中学校・南部公民館  
ウクライナ  
会 場／ 中央図書館 展示作品／ 富士宮東高等学校  
会 場／ 総合福祉会館 展示作品／ 大富士小学校・富士根南小学校

日 時／ 11月19日(土)・20日(日)  
会 場／ 市民体育館内(産業フェア)  
展示作品／ 全作品(5作品)

## 制作者

県立富士宮東高等学校、大富士小学校、富士根南小学校、富士宮第四中学校、南部公民館(東小学校、黒田小学校、富士宮第一中学校、星陵中学校、星陵高等学校)

■ 主催 キッズゲルニカ富士宮実行委員会

■ 協賛 (株)アサギリ、(株)エージェントうさみ、(株)小野田総合設備、黒松税務会計事務所、後藤憲治税理士事務所、(株)シーエーティー、シンコーラミ工業(株)、清観光(株)、(株)第五堂深沢文具、(株)大正建設、(株)たちばな、(株)東海製蠟、(株)肉のすずき、富士急静岡バス(株)、富士宮清掃(株)、(株)藤原、(有)マルモ食品工業

■ 問い合わせ 富士宮市役所企画部広報課 ☎0544-22-1119

# 県立富士宮東高等学校



## 「問題と平和の対談」

現在のウクライナ問題を“他人事”にしていませんか。

私たちは、ただ平和を願うだけでなく、物事の起こりや各国の思想について考え、今回のゲルニカ制作に取り組みました。

画面の左から右へ、悲惨な現場から平和な世界への移り変わりを表現しました。左上の文字はウクライナ語で“他人事ではない”。右側の文字は“世界平和のために私たちができること”と書いてあります。

その“私たちができること”というのを最後の晩餐の構図を使い、対話を通して解決への糸口を見つけていく場面を描きました。

世界平和のためにできることを、皆さんで考えましょう。



制作期間：4月29日～5月24日

芸術コース2年生23人が参加



# 大富士小学校



## 「みんな、ひとつの♡ ~Our heart will be the one.~」 (世界の風を平和色に染めよう)

大富士小学校には、10以上の様々な国にルーツを持つ、多文化の外国籍等児童が在籍しています。日本に初めて来た時は、みんな不安で心細く思っていました。でも、クラスの友達が優しくしてくれたことで、安心して学習や生活を送ることができました。

今回、キッズゲルニカに参加したことで、国の違いにこだわることなく、世界中の誰もが仲良く「ひとつ」になれるよう、絵に願いを込めました。

ハトは、ノアの箱舟に世界の安全を伝えるオリーブの葉をくわえ、ヒマワリは世界の平和、カラー(花)は純情を、桜は日本から平和を願っていることを、旗は国旗ではなく(国の違いにこだわらず)虹の色の旗、そして、虹と桜ふぶき、風にのる種は、富士山が見守る富士山の麓から、みんなが同じ空の下で心をつないで、誰もがいい雰囲気に混ざり合ってほしい、大富士小学校のように幸せと平和のあつまりに世界中を巻き込みたい、という願いを込めて描きました。



制作期間:5月7日~21日 図工に興味のある児童や外国籍の児童など延べ20人が参加



# 富士根南小学校



## 「とどけ! 富士根南小学校から、笑顔・思いやり、そして世界平和への願い」

富士根南小学校では、外国語委員会を中心に作品の構想を練り、4年生から6年生まで160人のボランティアと一緒に平和への思いを込めて、この「キッズゲルニカ」を完成させました。

今、世界各地では様々な理由で苦しんでいる人々がたくさんいます。私たちは、美しい富士宮の風景の中で、笑顔で楽しく遊ぶ私たち自身の姿を描き、「誰もが笑顔になれる平和の大切さ」を世界に伝えたいと思いました。

空には富士山から広がり、世界の国々をつなぐ「虹の架け橋」を描きました。中央には「笑顔の地球」を描き、世界中が笑顔であふれる様子を表現しました。野原一面には、平和を意味する「デージーの花」を富士根南小学校の全校児童の数だけ(1,023人)心を込めて描きました。

この絵を見た多くの人々が、世界の平和につながる「笑顔と思いやりの心」の大切さに気付いてもらえたらうれしいです。



制作期間:4月25日~5月21日

4年生以上のボランティア児童延べ160人が参加



# 富士宮第四中学校



## 「贈る・つながる・結ぶ」

### 【贈る】

平和へのメッセージを発信するために子どもたちが大きな絵を描くという「行動」こそが、キッズゲルニカプロジェクトが世界中で広がっている理由だと思いました。「想いを実現するために行動すること」を「花を贈る」というデザインで表現しました。

### 【つながる】

つなげようとしなくても、また、直接会わなくても、さまざまな方法でつながってしまう世界で生きている私たちは、情報による「世界とのつながり」を実感しています。背景に描いた「七宝」という吉祥紋に「輪(和)をつなぐ」という意味を込めました。

### 【結ぶ】

日本で発達した「結ぶ」という文化や考え方は、平和的な関係を築くことにつながると思いました。背景の水引には「末永く縁を結ぶ」という意味が込められています。



制作期間:7月13日~27日 美術部員31人が参加



# 南部公民館



## 「希望を乗せて」

私たちは、「自由に描くこと」を1つのテーマに取り組みました。  
「平和とはこういうもの」という決められた形に縛られず、自分にとっての「平和」の形を自由に詰め込むことができるように、広い空と草原、そして車をモチーフに選びました。また、みんなで汽車に乗って希望に満ちた平和な未来へ進んでいこう、という思いも込めています。  
一人一人が平和を思って描いた大小さまざまな絵が、この作品の中に隠れています。



制作期間：7月27日～8月28日

東小学校・黒田小学校・富士宮第一中学校・星陵中学校・星陵高等学校の生徒延べ54人が参加

